

まちの取り組みとお金の使い道

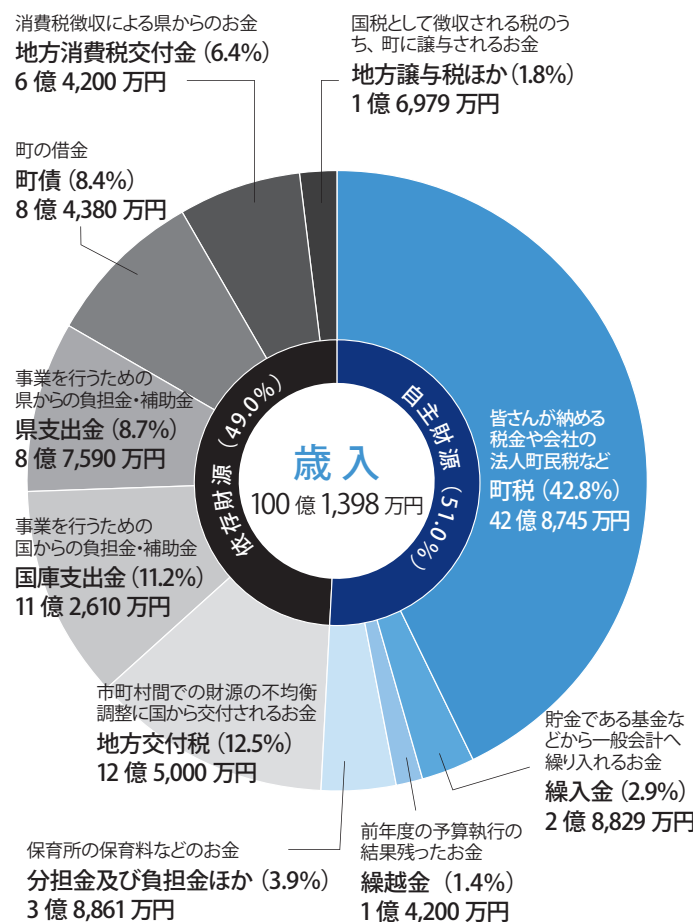
町民の皆さんにとって、より住みやすい、快適なまちづくりのため、30年度の取り組みとお金の使い道を計画しました。今回は、町が目指す5つのまちづくりに沿って紹介します。

平成30年度、まちのお金の使い道、一般会計当初予算は

100億1,398万円（前年比3.1%増）

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

入るお金【歳入】



自主財源は町が自主的に収入できるお金、依存財源は国や県から交付されるお金や借金です。自主財源が多いほど町の運営は安定し、独自性を保てます。

本年度は自主財源の金額が前年度より1.1%減少し、厳しい財政運営です。

▶町税 固定資産税の減額が見込まれる（償却資産、家屋（評価替えの実施のため））

▶その他 景気の回復基調を受け地方消費税交付金などの増額が見込まれるが普通交付税は減額が見込まれるなど、財源不足に対応するため、財政調整基金から2億4,000万円繰り入れ

◎皆さんに知ってほしいこと

▶町には、まちをよりよくするため、30年度に取り組むこと、町の進むべき方向を決めています。（町政方針）▶そのためのお金のやりくりも計画済みです。（当初予算）▶では、どうして決まっていることをお知らせするのでしょうか。▶家庭で考えてみましょう。家族旅行のために節約することを、お母さんだけが計画して行動するよりも、お父さんも子どもも理解して一緒に行動する方が、節約も上手くいくし、実現した旅行もずっと楽しいですね。▶つまり、町の目指すものも、町民みんなで共通認識を持って、一緒に行動する方が上手くいくのです。▶まちの主役は皆さんです。「みんなで一緒に」知って、行動しましょう。

使うお金【歳出】

土木費 3億1,800万円 ↑

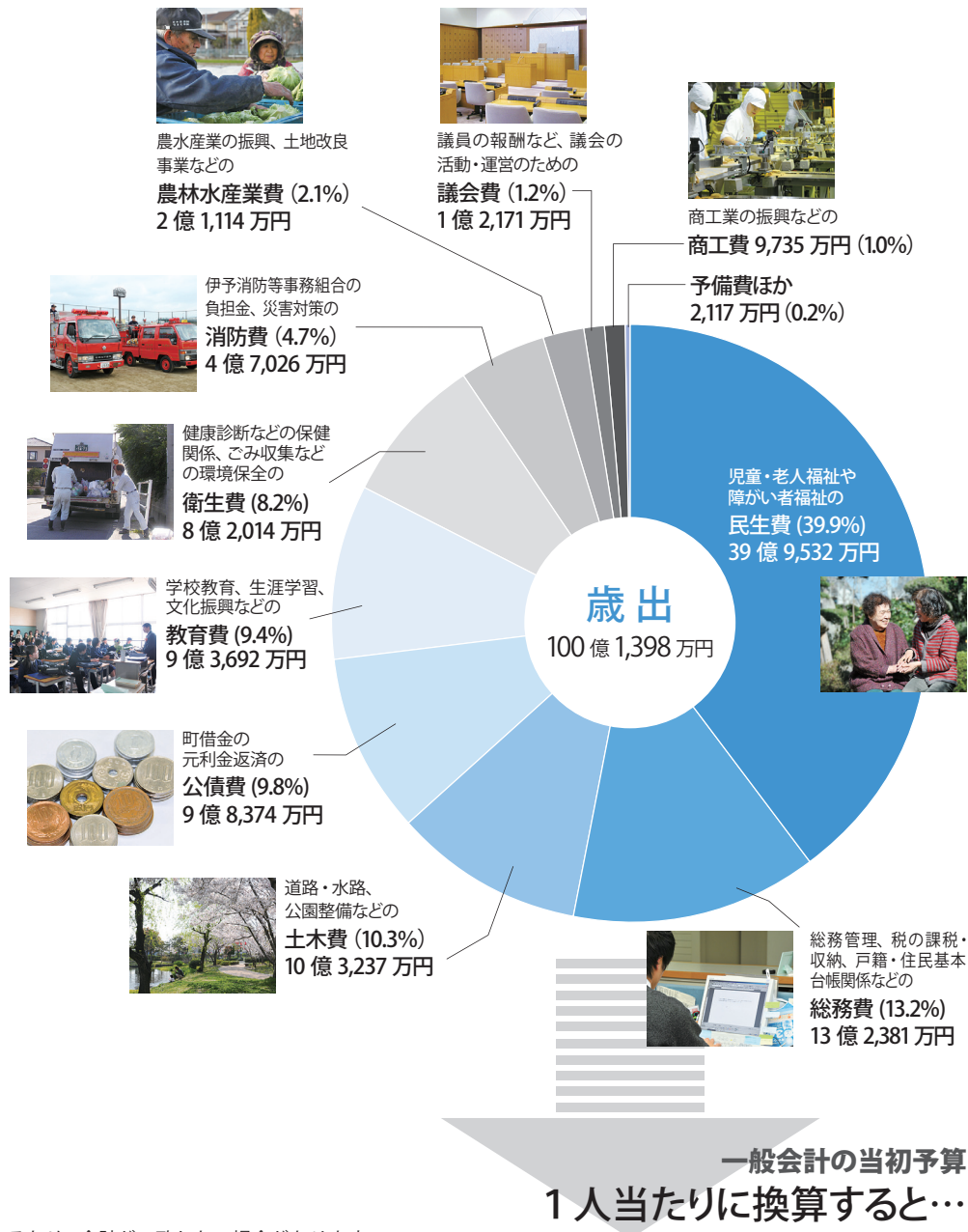
JR 車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業や幹線町道整備事業などにより増額

総務費 1億3,400万円 ↑

役場の駐車場不足解消に向けた整備事業や災害時の情報伝達の多重化を進める事業などにより増額

民生費 1億700万円 ↓

松前ひまわり保育所が完成し事業費が減少したことなどから減額



一般会計の当初予算
1人あたりに換算すると…

（平成30年2月28日現在の人口30,877人）

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

1人当たり 324,310円 ↑ 9,255円 up		土木費 33,434円 (前年比 10,286円)		衛生費 26,561円 (前年比 △ 530円)		議会費 3,941円 (前年比 △ 26円)	
民生費 129,394円 (前年比 △ 3,710円)		公債費 31,859円 (前年比 △ 831円)		消防費 15,230円 (前年比△ 762円)		商工費 3,152円 (前年比△ 664円)	
総務費 42,873円 (前年比 4,302円)		教育費 30,343円 (前年比 897円)		農林水産業費 6,838円 (前年比 328円)		予備費ほか 685円 (前年比 △ 35円)	

安心して子どもを生み、
育てることができる
まちづくり

子育て支援



New

保育・教育施設などの整備

学校教育
子育て

認定こども園施設整備補助	3億2,759万円
松前中改築設計委託	4,931万円
岡田小放課後児童クラブ新築工事設計委託	674万円

【認定こども園】北伊予地区（青葉幼稚園）で新たに整備が予定されているため、整備にかかる費用を補助します。
【松前中改築】老朽化が進んでおり耐震化も行えないため、改築するための設計を委託して行います。
【岡田小放課後児童クラブ新築】クラブの充実を図るため、新築するための設計を委託して行います。

New

学校教育指導員の配置

学校教育

学校教育指導員配置	301万円
-----------	-------

教育改革による教育内容の多様化・複雑化に対応するため、専門的な知識を持つ教員OBを学校教育指導員として配置します。

▶指導員は、学校教育課に配置し、特別支援教育やいじめ・不登校などに関する指導や助言を行います。また、研修会などを通して、教職員の指導力向上を図ります。



前松前小校長 二宮和広さん

妊婦・乳幼児健康診査 (3歳児健診の充実)

子育て

母子保健事業健康診査委託	2,293万円
--------------	---------

3歳児健診で、四国の自治体で初めてとなる目の検査機器を導入し、健診の充実を図ります（詳しくは「子育てのひろば」のページ）。

子ども医療費の助成

子育て

子ども医療費	1億2,669万円
--------	-----------

昨年から拡大した「中学生までの子どもの医療費無料化」を継続し、安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを進めます。



New

情報伝達多重化推進

(災害時の情報伝達方法の見直し)

防災

防災行政無線（同報系）操作卓更新	2,862万円
スマートフォンPUSHサービス利用料	220万円

防災行政無線を操作する機械を更新し、1回の操作で防災行政無線だけでなく、スマートフォン、携帯電話やホームページなどさまざまな媒体に情報を伝達できるようにします。

▶平成29年台風18号被害の後、「防災行政無線が聞こえなかった」との声を多く聞きました。そこで、さまざまな媒体で災害情報を得られるように上記事業に取り組みます。

New

JR伊予横田駅の駐輪場整備

安全

JR伊予横田駅駐輪場整備	881万円
--------------	-------

JRの利用者が安全・安心に利用できるよう、伊予市と共同で駐輪場に屋根と照明を整備します。

老朽放置建物の倒壊防止 住宅の耐震化の促進

防災

住環境改善事業	642万円
木造住宅耐震化促進事業	3,498万円

建物倒壊での災害を防ぐため、①倒壊のおそれがある空家の除却（住環境改善）や②木造住宅耐震化を行う人に工事費などを補助します（①は支払方法に受領委任払い追加。詳しくはP.20）。

安全・安心な
まちづくり



防災・防犯

1回の操作で迅速・確実に
さまざまな媒体へ情報を伝達



防災行政無線



HP・登録制メール



スマホアプリ

New

土のう置場を設置

防災

土のう置場設置工事	265万円
-----------	-------

短時間でのゲリラ豪雨など、緊急に土のうが必要となった場合でも迅速に対応できるよう、消防署に土のう置場を設置します。

▶今までは、日光や雨風の影響で土のう袋が朽ちてしまい、土のうの長期保存ができませんでした。置場を設置することで長期保存が可能となることから、事前の備えで防災につなげていきます。



5

松前の5つのまちづくり

快適で、文化的で、
おしゃれな
まちづくり

おしゃれ・協働

4

松前の5つのまちづくり

みんなで
支え合う
まちづくり

コミュニティ

3

松前の5つのまちづくり

賑わいと
活力のある
まちづくり

農水産業・観光

New

旧保健センター解体 跡地の駐車場整備

快
適

旧保健センター解体と駐車場整備 2,440万円

庁舎の駐車場不足を解消するため、旧保健センター（下の地図ピンク色）を解体し、その跡地を駐車場として整備します。

▶イベント時には道端に駐車する車があり危険であることから、事故の危険を防ぐため駐車場を増設します。

New

ご当地ナンバープレートの作成

お
し
ゃ
れ

ご当地ナンバープレート作成事業 5万円

町の魅力発信と活性化を図るため、原動機付自転車のナンバープレートを公募で作成します（詳しくはP.18）。

浄化槽設置整備の補助 （対象範囲見直し）

環
境

浄化槽設置整備事業費補助 3,392万円

生活排水による水質汚濁を防ぎ、水質を保全するため、浄化槽を設置した人に補助します（公共下水道整備構想策定により対象範囲を見直し。詳しくはP.22）。

New

空家活用を支援

コ
ミ
ュ
ニ
ティ
移
住

地域交流拠点型支援 100万円

住宅型（県外からの移住者などを対象）支援 100万円

今後、空家が増加することが見込まれることから、地域コミュニティの活性化や移住促進を図るため、コミュニティ拠点や住宅として空家を改修する団体などに対して助成を行います（住宅型は県と連携）。

▶町政懇談会などで子育てサロンや地域交流の場が不足しているとの声があったため、空家を活用した居場所づくりを進めます。

西公民館の補強改修

コ
ミ
ュ
ニ
ティ

公民館耐震化事業（耐震補強・改修工事など）1億115万円

西公民館の耐震補強、改修工事を行い、地域の人々の活動の場を確保します。

コミュニティ施設の整備

コ
ミ
ュ
ニ
ティ

コミュニティ対策事業 627万円

各地区の集会所、公園などの整備にかかる費用を助成します（本年度は、宗意原、徳丸、中川原、出作、鶴吉、横田、恵久美、西高柳地区のコミュニティ施設）。

New

古泉駅前を花いっぱい （農地を花畑に整備）

観
光

花いっぱい事業（維持管理委託・整備工事など） 302万円

町のイメージアップを図るとともに憩いの場を創出するため、古泉駅南側農地を花畑に整備します。

▶花畑の中心まで行くことができるよう通路を整備する計画です。

はんぎり競漕の魅力発信

観
光

はんぎり競漕PR事業 291万円

県内高校生に参加を呼び掛け、平成28年度から始めた「はんぎり甲子園」の拡大を図り、はんぎり競漕の魅力を町内外へ発信します。

ホッケーのまちづくり （ホッケーの普及促進・国際交流）

ス
ポ
ー
ツ

ホッケー普及促進事業関係 127万円
国際交流事業 269万円

ホッケーの聖地まさきを目指し、国内の強豪チームを招いたホッケーイベントをはじめ、本年度は中四国九州の中学生を対象とした大会を初めて開催し、ホッケーの普及啓発と技術向上を図ります。また、昨年度に引き続きオーストラリアの生徒とホッケー交流を行います（詳しくはP.12（イベント）、P.14（国際交流））。

New

レンタサイクル事業の補助

産
業

まさきレンタサイクル事業費補助 227万円

エミフルMASAKIに訪れた観光客などを対象にレンタサイクルを開始します（詳しくはP.15）。

New

町単独の農業振興対策

産
業

町単独農業振興対策事業 28万円

町単独で農業振興を図るため町産の農産物シールを作成して商品に貼り、その効果を検証します。

▶シールの作成は、若手農業者と町が意見を交わし農業政策を考える「若手農業者検討会議」で提案されたものです。今後も農業者の皆さんと協同し、より良い政策を考えていきます。

はだか麦の商品開発 ブランド化

産
業

はだか麦プロジェクト事業 800万円

平成28年度から進める「はだか麦プロジェクト」を継続し、店舗との商品開発や「はだかむぎゅ」の商品化を進め、ブランド化を図るとともに地場産品のPRを行います。

7 2018-4 ✧ 広報 まさき

広報 まさき ✧ 2018-4 6